



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,847	6.5	173	28.9	242	70.5	169	82.3
29年3月期第2四半期	9,248	—	134	—	142	—	93	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 588百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	142.34	—
29年3月期第2四半期	78.09	—

(注) 当社は、平成28年3月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,740	6,841	43.5
29年3月期	14,008	6,306	45.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,841百万円 29年3月期 6,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,554	3.9	324	9.1	381	△1.9	262	0.4	220.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,193,035株	29年3月期	1,193,035株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	39株	29年3月期	39株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,192,996株	29年3月期2Q	1,193,035株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年11月30日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定としております。当日に使用する決算説明資料については、開催後遅滞なく当社ホームページ(<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/>)に掲載いたします。なお、機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催予定の詳細は、当社ホームページ(<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/calendar.html>)に掲載しておりますので、ご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は緩やかに改善が続き、個人消費にも持ち直しの動きが見られ、企業収益、設備投資とも底堅くなり、景気は緩やかな回復基調で推移することとなりました。しかしながら、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスクや米国の政治動向、中国の景気失速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましては、生産・販売活動が比較的堅調に推移し、また、当社グループとしても化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は9,847,504千円（前年同四半期比6.5%増）となり、売上総利益は前年同四半期比5.6%増、販売費及び一般管理費は前年同四半期比0.7%増と微増であった為、営業利益は173,702千円（前年同四半期比28.9%増）となりました。また、経常利益は営業外収益80,831千円、営業外費用として12,007千円を計上したことにより242,527千円（前年同四半期比70.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は169,806千円（前年同四半期比82.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用82,415千円（前年同四半期比1.6%増）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、国内得意先の生産活動は概ね堅調に推移し、化粧品分野を中心とした新規取引先の開拓や既存得意先への輸入商材の拡販に努めました。品種別では高級アルコール、脂肪酸の販売が好調に推移しました。

この結果、化学品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は8,912,349千円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は202,454千円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、インターネット販売の開始による当社オリジナル商品の販売チャネル拡大や既存得意先への新アイテムの提案、新規取引先開拓等に努めました。ただ、一部商品の販売は堅調に推移するものの、売れ行き全体では低調に推移しました。

この結果、日用品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は422,366千円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント利益は63,238千円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、低調に推移していた事業環境から回復の兆しが見られ、これまで工事案件であったものが、施工会社、メーカー、二次販売店から受注することとなり、受注件数が増えてまいりました。ただ、環境改善工事の受注は依然低調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は512,788千円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント損失は9,575千円（前年同四半期は8,790千円のセグメント損失）となりました。

[平成30年3月期 第2四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円、%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	8,912,349	90.5	202,454	2.3
日用品事業	422,366	4.3	63,238	15.0
土木建設資材事業	512,788	5.2	△9,575	—
全社費用	—	—	△82,415	—
セグメント合計	9,847,504	100.0	173,702	1.8

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,740,671千円（前連結会計年度末比1,732,537千円の増加）となりました。主な要因は、商品が148,437千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が685,036千円、現金及び預金が611,345千円、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が591,049千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は8,899,037千円（前連結会計年度末比1,197,653千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が200,000千円、1年内返済予定の長期借入金が100,000千円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,229,323千円、繰延税金負債が166,614千円、未払法人税等が52,346千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,841,634千円（前連結会計年度末比534,884千円の増加）となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動によりその他有価証券評価差額金が415,434千円、利益剰余金が116,121千円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ607,845千円増加し、1,726,138千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は983,118千円（前年同四半期は197,496千円の獲得）となりました。主な要因は、売上債権の増加額が691,311千円あった一方で、税金等調整前四半期純利益を242,527千円計上し、また仕入債務の増加額が1,237,437千円、たな卸資産の減少額が149,217千円、未払消費税等の増加額が27,895千円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25,061千円（前年同四半期は10,924千円の使用）となりました。主な要因は、保険積立金の積立による支出が9,279千円、無形固定資産の取得による支出が8,682千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は353,684千円（前年同四半期は228,502千円の使用）となりました。要因は、長期借入金の返済による支出が300,000千円、配当金の支払額が53,684千円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,092	1,956,438
受取手形及び売掛金	6,011,317	6,696,354
商品	490,112	341,675
貯蔵品	529	473
繰延税金資産	30,920	34,418
その他	67,250	48,669
貸倒引当金	△4,890	△5,465
流動資産合計	7,940,332	9,072,563
固定資産		
有形固定資産	220,503	213,499
無形固定資産	29,044	34,317
投資その他の資産		
投資有価証券	5,368,061	5,959,110
敷金及び保証金	319,477	321,460
その他	136,920	145,925
貸倒引当金	△6,205	△6,205
投資その他の資産合計	5,818,253	6,420,292
固定資産合計	6,067,801	6,668,108
資産合計	14,008,134	15,740,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,276,495	5,505,819
短期借入金	33,855	33,309
1年内返済予定の長期借入金	300,000	200,000
未払法人税等	22,977	75,324
賞与引当金	62,015	70,621
その他	60,982	85,073
流動負債合計	4,756,325	5,970,147
固定負債		
長期借入金	1,350,000	1,150,000
退職給付に係る負債	29,385	38,050
役員退職慰労引当金	148,137	154,683
繰延税金負債	1,392,336	1,558,951
その他	25,198	27,204
固定負債合計	2,945,058	2,928,889
負債合計	7,701,384	8,899,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	176,361	176,361
利益剰余金	2,603,487	2,719,608
自己株式	△89	△89
株主資本合計	3,027,928	3,144,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,187,462	3,602,897
為替換算調整勘定	91,359	94,687
その他の包括利益累計額合計	3,278,822	3,697,584
純資産合計	6,306,750	6,841,634
負債純資産合計	14,008,134	15,740,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,248,032	9,847,504
売上原価	8,471,955	9,027,698
売上総利益	776,077	819,805
販売費及び一般管理費	641,327	646,103
営業利益	134,749	173,702
営業外収益		
受取利息	3,595	3,447
受取配当金	48,496	58,285
不動産賃貸料	9,406	7,279
為替差益	—	10,299
その他	2,025	1,520
営業外収益合計	63,524	80,831
営業外費用		
支払利息	7,594	7,113
為替差損	38,961	—
不動産賃貸原価	3,446	4,292
その他	6,064	601
営業外費用合計	56,067	12,007
経常利益	142,206	242,527
税金等調整前四半期純利益	142,206	242,527
法人税、住民税及び事業税	63,258	79,508
法人税等調整額	△14,215	△6,787
法人税等合計	49,042	72,721
四半期純利益	93,164	169,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,164	169,806

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	93,164	169,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141,834	415,434
為替換算調整勘定	△65,086	3,327
その他の包括利益合計	△206,920	418,762
四半期包括利益	△113,756	588,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,756	588,568

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	142,206	242,527
減価償却費	5,192	11,988
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	574
受取利息及び受取配当金	△52,091	△61,733
支払利息	7,594	7,113
為替差損益(△は益)	5,202	△4,528
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,219	8,606
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,876	6,545
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,430	8,665
売上債権の増減額(△は増加)	△5,094	△691,311
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,148	149,217
仕入債務の増減額(△は減少)	268,712	1,237,437
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,950	27,895
その他	△872	11,629
小計	310,290	954,626
利息及び配当金の受取額	52,647	60,592
利息の支払額	△7,713	△6,178
法人税等の支払額	△157,728	△25,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,496	983,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	31,500	—
有形固定資産の取得による支出	△29,524	△1,544
投資有価証券の取得による支出	△5,575	△5,711
投資有価証券の売却による収入	910	1
無形固定資産の取得による支出	—	△8,682
ゴルフ会員権の売却による収入	2,205	—
保険積立金の積立による支出	△9,290	△9,279
その他	△1,148	155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,924	△25,061
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	19,948	—
長期借入金の返済による支出	△200,000	△300,000
配当金の支払額	△47,721	△53,684
その他	△729	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△228,502	△353,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,852	3,473
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,078	607,845
現金及び現金同等物の期首残高	1,363,700	1,118,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,332,622	1,726,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,288,735	459,863	499,432	9,248,032	—	9,248,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,047	—	2	4,049	△4,049	—
計	8,292,782	459,863	499,435	9,252,081	△4,049	9,248,032
セグメント利益又は損失 (△)	147,641	77,027	△8,790	215,879	△81,129	134,749

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,129千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△81,129千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,912,349	422,366	512,788	9,847,504	—	9,847,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,288	—	—	4,288	△4,288	—
計	8,916,638	422,366	512,788	9,851,792	△4,288	9,847,504
セグメント利益又は損失 (△)	202,454	63,238	△9,575	256,117	△82,415	173,702

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,415千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△82,415千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。